

# SUPER SCIENCE HIGH SCHOOL

文部科学省指定

2020~2021 スーパーサイエンスハイスクール



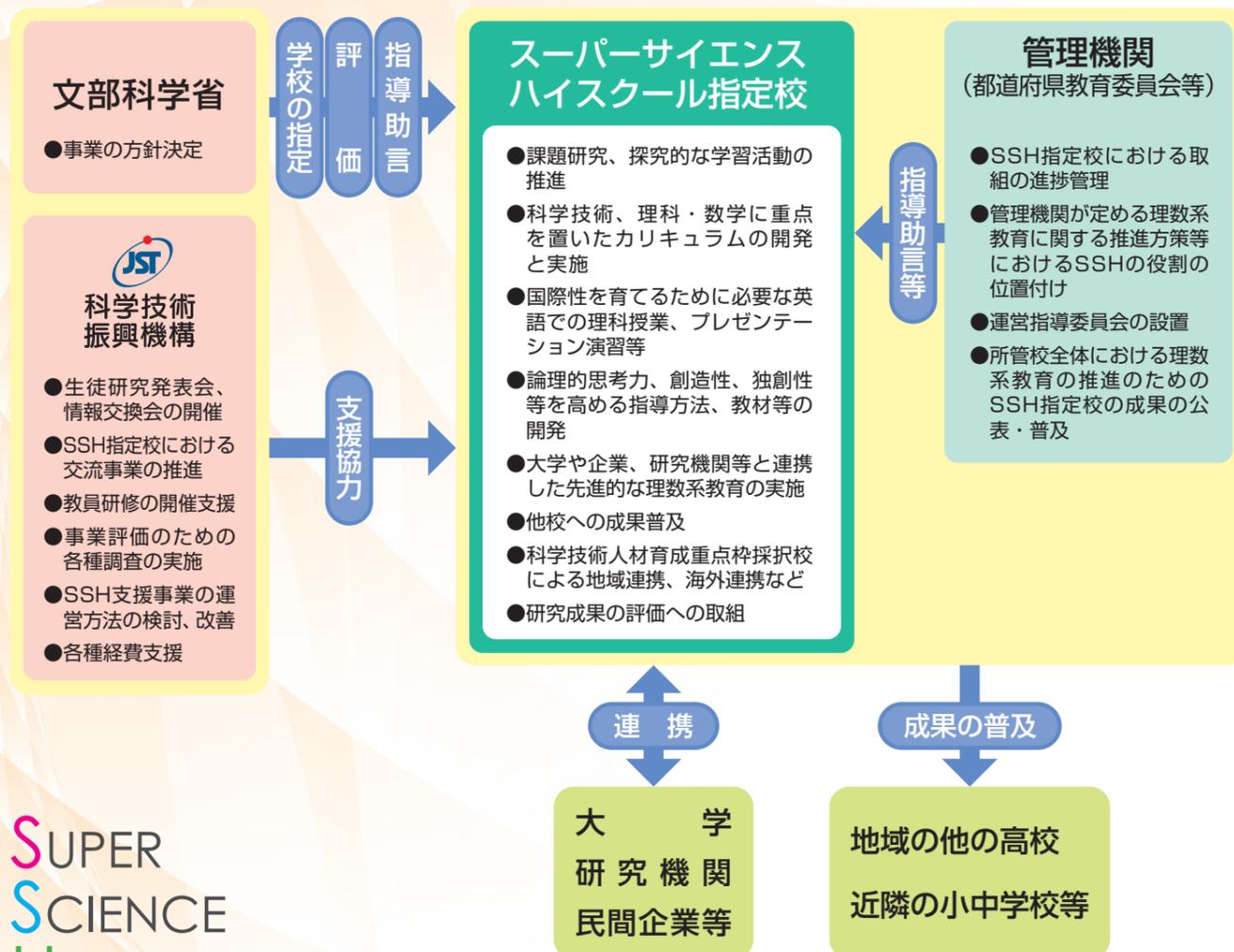


文部科学省が指定する「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」は、先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて、生徒の科学的能力や科学的思考力等を培うことで、将来社会を牽引する科学技術人材を育成するための取組です。

SSHでは「科学への夢」「科学を楽しむ心」を育み、生徒の個性と能力を一層伸ばしていくことを目指しています。SSHでは、平成14年度より大学や研究機関等とも連携して先進的な理数系教育を実施し、魅力的なカリキュラムを開発するなど、科学技術に夢と希望を持つ、創造性豊かな人材の育成に取り組んできました。また、SSH指定校を拠点校として、地域への成果の普及などを行っています。

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）は、SSH指定校への物品購入、研修・講師費用等の支援、並びに発表会等の企画運営などを行い、SSHと密接に連携しその取組を積極的にサポートしています。

### 先進的な理数系教育による創造性豊かな人材育成



### 科学技術人材育成重点枠（最長5年間）

SSH指定校は基礎枠の取組に加え、科学技術人材の育成に係る更なる取組を行う場合、希望すれば科学技術人材育成重点枠に応募可能。(応募のあった学校に対して審査の上、追加支援) その場合、以下5区分のいずれかの取組を行う。

- ① **高大接続による一貫した理数系トップレベル人材育成プロセスの開発・実証【高大接続枠】**  
…育成する人材像から導かれる資質能力を段階的に育成・評価する手法を大学と共同して開発・実証することにより、将来、我が国の科学技術を牽引する理数系トップレベル人材の育成を図る。
- ② **広域連携【広域連携枠】**  
…SSHの実践等で培ったカリキュラムや関係機関とのネットワーク等を広域的(都道府県全体若しくはそれ以上)に普及し、広く周辺地域全体の理数系教育の質の向上を図る。
- ③ **海外連携【海外連携枠】**  
…海外の研究機関や学校等と定常的な連携関係を構築し、国際性の涵養を図るとともに、将来、言語や文化の違いを超えて共同で研究活動ができるような人材の育成を図る。
- ④ **地球規模問題に関わる社会との共創【地球規模の社会との共創枠】**  
…地球規模の社会問題に関して生徒が主体的に行う科学的な課題研究について、地域の大学、企業等との連携の下に、学校として組織的な取組を行うことにより、新たな価値創造を志向する人材の育成を図る。
- ⑤ **その他**  
…上記4つの区分以外の科学技術人材育成に資する特色ある取組。

### SSH基礎枠

SSH指定校は先進的な科学技術、理科・数学教育に関する研究開発を、以下3区分のいずれかを選択して実施。①②は指定期間5年、③は指定期間3年とする。

- ① **開発型**…研究仮説を一から設定・検証し、新規性のある教育課程等の研究開発を実施。申請校にはSSH指定の実績を問わない。
- ② **実践型**…新規の研究仮説の設定を必須とせず、今までに開発してきた教育課程等の実践的な研究開発を実施。申請校には過去にSSHに指定された実績があることが必要。
- ③ **先導的改革型**…科学技術人材育成におけるシステム上の課題を自ら設定し、当該課題に挑戦する意欲的な研究開発を実施。申請校は申請を行う時点で、SSH指定IV期目の最終年度であること又はIV期目の最終年度を終えていることが必要。

### SSHホームページ

JSTでは、スーパーサイエンスハイスクール支援事業の情報の発信を目的としたホームページを運用しています。是非ご覧ください!!

URL <https://www.jst.go.jp/cpse/ssh/index.html>

# SSH指定校の特徴的な取組①

SSH指定校では、各学校で作成した計画に基づき、独自のカリキュラムによる授業の展開や、大学・研究機関との連携による授業、地域の特色を活かした課題研究などに積極的に取り組み、普段の高校生活では出会えない人との出会い、交流、研修による体験、発表等を行っています。SSH指定校の中から、16校の取組をご紹介します。



## 開発型

### 秋田県 秋田県立横手高等学校 | カリキュラム開発

同校は、「エビデンスを基に議論を積み重ね、国際社会で活躍するグローバルサイエンスリーダーの育成」を目標に掲げ、学校設定科目「MDS(美入野データサイエンス)」を設置しました。特に1年生全員に実施されるMDS基礎においては、前半ではICT機器の活用と基本的な統計学について融合的に学習し、後半では班ごとにテーマを設定して実際に市中でアンケート調査を行い、そのデータを元に分析と検証を進めるPBL型学習を実施しています。この学習を通して次年度以降の課題研究に向けた基盤を育成しています。



▲スライドを用いたステージ発表

### 群馬県 群馬県立桐生高等学校 | 大学・企業との連携

同校の近隣には桐生市役所や群馬大学理工学部等があり、生徒は地域を中心に社会とのかかわりを見出して課題研究を行っています。1年生では桐生市役所等の協力により、「桐生学」として地域についての講座を受講し、現状の理解や課題発見につなげています。また、県内の大学に協力をいただき、定期的に課題研究の指導・助言を受けています。「地域力による脱温暖化と未来の街～桐生の構築」プログラムでは群馬大学・企業・自治体等と連携し、環境問題や低速電動コミュニティバスの活用について生徒が市内の小学校へ出前授業を行う取組も実施しています。



▲桐生市役所環境課による桐生学「桐生市の環境について」の講座の様子

### 茨城県 茨城県立日立第一高等学校・附属中学校 | 高大連携

同校のⅢ期SSH研究開発課題は、「科学的ディスカッションができるリーダーを育成するための研究」です。課題研究を行う学校設定科目「白壁研究Ⅱ」で、ディスカッションの機会を多く設け、その積み重ねで研究が深化する体験を通して、ディスカッションの必要性を理解し、その能力の高い生徒を育成できると考えました。そこで、茨城大学の工学系の大学院生をチューターとして配置し、研究に取り組む各グループに適宜質問を行い、生徒が考え答える機会を増やしました。生徒は、ポスター発表の質疑応答で粘り強くディスカッションできるようになりました。



▲ポスター発表後のチューターを交えた研究内容の振り返り

### 石川県 石川県立小松高等学校 | カリキュラム開発

すべての授業において「探究力」の土台となる思考力、主体的に学ぶ力を育成し、課題研究を中心に据えた3年間の学習体系を確立します。第1学年に「探究スキル育成講座」を開講し、実験の組み立て方やデータ処理、分析を経験し、第2学年の課題研究のテーマ設定に役立ちます。第3学年では課題研究の継続と領域融合学習を行い、大学での学びにつなげます。また、「生徒参加型ルーブリック」を提唱し、生徒の自己評価能力を育成するとともに、独自の「探究力」検査や客観テスト、ポートフォリオを通して、カリキュラム評価を行っています。



▲第3学年の領域融合学習の様子（酵素反応速度の測定）

## 実践型

### 長野県 長野県屋代高等学校・附属中学校 | 課題研究

同校における探究活動の特徴は、全員が1年で「一人一研究」に取り組み、個人レベルで探究のスキルを身に付け、2年で「課題探究(普通科)」「課題研究(理数科)」というグループ研究に取り組むことで主体性や協働性を高めていることです。一人一研究における課題発見→探究→発信(プレゼンテーション)の一連の探究活動から2年でのグループ研究にステップアップさせ、地域と連携した活動や大学と連携した専門性の高い研究、ポスターセッションによる交流など、より発展的な活動を通して課題発見・解決能力、論理的思考力の向上を図っています。



▲1年一人一研究クラス発表会

### 愛知県 愛知県立刈谷高等学校 | 発表会

同校では、第3学年「課題研究Ⅱ」において、3年間の学習の集大成として、すべての生徒が、課題研究の成果を英語プレゼンテーション資料にまとめ、講座内での口頭発表を行います。講座内の発表会で選出された代表班は、例年10月頃実施する全校英語口頭発表会にて口頭発表を行います。この発表会は、大学等から外国人講師をお招きし、質疑応答やフィードバックをしていただくなど、「本物」の体験となるように工夫しています。なお当発表会は司会進行、生徒同士の質疑応答も含めすべて英語で実施されますが、毎回活発なやりとりが行われています。



▲代表班の英語プレゼンテーション

## 重点枠

### 北海道 学校法人立命館 立命館慶祥高等学校 | 海外連携

同校が主催する「国際共同課題研究プロジェクト」では、海外連携校との相互訪問／招へい研修を軸とし、SNS等を利用した長期的な共同研究を開発しています。タイ・インドネシア・中国・シンガポールの連携校それぞれとの共同プログラムにおいて、同校と複数の国内連携校から集まった参加生徒が、研究班編成⇒テーマの議論⇒予備実験⇒合同実験⇒合同研修⇒成果発表までを協力して進めます。課題発見や問題解決を、海外生徒とのコミュニケーションの中で図ることにより、参加生徒達は言語や文化、地域の壁を乗り越えて協働する力を身に付けます。



▲異なる国・出身校メンバーの研究班

### 千葉県 千葉県立船橋高等学校 | 高大接続

千葉大学と船橋、柏、佐倉、長生、木更津の県立SSH5校によりSSHコンソーシアム千葉を構築し、事業を推進しています。1年生ではプレ課題研究や徹底探究基礎講座という人材発掘プログラムに取り組み、約35名の生徒が選抜されます。2年次以降は選抜生がさらに専門性の高い徹底探究講座やスキルアッププログラムなどに取り組んでいきます。また、大学研究室のように日常的に英語を活用し、サイエンスアシスタントによる科学実験を実施するなど、円滑な大学接続によるグローバルリーダーの育成を目指しています。



▲プレ課題研究講座にて他校の生徒と実験をする様子

# SSH指定校の特徴的な取組②



## 開発型

### 大阪府 大阪府立富田林高等学校・中学校 | 大学・企業との連携

同校は「併設型中高一貫校におけるグローバル・リーダーの育成」を目標としています。中学校段階では企業や行政など70近くの団体と連携しながら探究活動を展開し、高校段階では大学の研究室などで各自の課題研究を発表してもらい、教授陣から直接指導や助言を受けることで、それぞれの研究を深めています。全校的には、地域に根ざした世界的リーダー育成をめざして、大学・企業・行政機関など25以上の団体と協力関係を築き、「地域の人との交流」や「パネルディスカッション」を含む「地域フォーラム」を毎年3月に開催しています。



▲「地域フォーラム」でのパネルディスカッション

### 鳥取県 学校法人鶏鳴学園 青翔開智中学校・高等学校 | ICT

同校では、積極的なICTの活用によりSSHの研究開発を行っています。テクノロジーを活用した課題解決に重点を置くことで、情報収集やプレゼンテーション資料の作成だけでなく、プログラミングを活用したアプリ開発やサービス提案が積極的・主体的に実施されるよう工夫されています。また、Googleサービスを活用し生徒全員の課題研究の進捗状況を可視化することによって、生徒一人ひとりに合った適切な支援を可能にしました。課題研究へのモチベーション維持と研究の質向上にもICTが大きな力を発揮しています。



▲カンボジア海外研修でアプリを開発し英語でプレゼンテーション

### 愛知県 学校法人名城大学 名城大学附属高等学校 | 地区合同発表会

同校では「SSH東海フェスタ」と称する研究発表会を平成18年度から実施しています。14回目となった令和元年度には、愛知、岐阜、三重、静岡の全ての指定校と関東からの2校、タイのPCSHトラン校の計25校、約1000名が参加しました。口頭発表分科会では大学と高校の教員が審査し、選ばれた研究は全体発表を行います。その他、各校ごとに幅4mのブースでモデル展示やモニターなどを利用して発表するパネルセッション、別会場でのポスターセッションなど、参加者はお互いの研究成果を持ち寄り、熱気あふれる議論を交わす機会となっています。



▲タイの生徒による分科会での口頭発表

### 大阪府 大阪府立千里高等学校 | 国際性の育成

同校は「グローバルな課題を解決する21世紀型科学者の育成」の一環として、令和元年10月に「国際シンポジウム」を実施しました。留学生も交えて自国の「環境」について紹介し、「環境」をテーマとした研究発表を行いました。発表や質問、その回答はすべて英語で行いました。この取組で、グローバル課題というものをイメージし、英語という共通言語の有用性を実感しました。また、併設する国際文化科の生徒が社会科学的なアプローチで「環境」について発表しました。それによりグローバル課題の解決には、自然科学と社会科学の協働が必要であることも感じました。



▲環境問題について発表の様子

## 実践型

### 広島県 国立大学法人広島大学附属高等学校 | 海外研修

同校では、日本、韓国、タイの4校で課題研究の連携ネットワークを形成し、毎年2月に合同研修を実施しています。3カ国での活動は2カ国に比べ英語での科学コミュニケーションが活発になります。さらに、課題研究と海外連携を有機的に結び付けた「国際協働モデル」の構築を目指し①共同テーマでの課題研究②共同授業に取り組んでいます。①ではSNS等を用いて、生徒は成果報告や意見交換を行い、教員もルーブリックの共用に向け検討を重ねています。②では探究的な科学授業を協同で開発、実施、共有することで指導力向上を図っています。



▲課題研究の合同発表会（タイ連携校にて）

### 熊本県 熊本県立宇土中学校・宇土高等学校 | 科学部系活動

探究の「問い」を創る授業、全生徒による課題研究を展開する同校は、特に、科学的な探究心・好奇心の高い生徒が「未知な事象」に挑める科学部活動を中高合同で行っています。中高隔てない探究、議論ができる環境に加え、学会や国際発表、地域イベント等、様々な科学的交流を通して、グローバルに科学技術をリードする人材を育成しています。その成果は高校教科書掲載や書籍化、日本物理学会Jr.セッション最優秀賞、国際学生科学技術フェアなどで高い評価を受け、さらには、世界最難関大学と称されるミネルバ大学進学者の輩出につながることができています。



▲中高合同での科学部活動の様子

### 京都府 京都府立嵯峨野高等学校 | 科学技術グローバル人材の育成

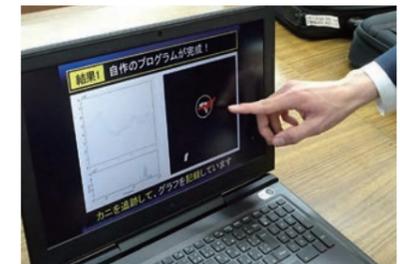
同校は京都府立高校9校でネットワークを構築し、海外の生徒との「相互交流」の場として、生徒発表会「サイエンスフェスタ」を年2回開催し、9校22名の生徒がシンガポールに出かける「アジアサイエンスワークショップ」を実施しています。また、「ケベック州森林プログラム」を実施し、現地の関連機関と連携し、森林調査に取り組んでいます。これらを通して、「学校をつなぐ、生徒をつなぐ、研究をつなぐ」をコンセプトに9校が地域の中核となる拠点校方式を深化させ、グローバルな科学技術人材育成システムの開発を目指しています。



▲海外連携校との国際共同研究の様子

### 宮崎県 宮崎県立宮崎北高等学校 | 新しい取組

同校の学校設定科目「Data Science」は、統計や画像・信号処理を課題解決型学習（PBL）で学びます。生徒は自分でプログラミング等しながらノウハウを学び、課題研究に役立ちます。例えば、絶滅危惧種のカニ、ハクセンシオマネキの研究グループは、「ハサミを振る速さ」をパソコンに認識させようと、「関心円」を考案し、プログラムを自作しました。関心円はカニを追跡しながら求愛行動に伴い自動的に面積を変え、その変化から速さを計算します。多数の動画から正確な多量のデータを得て、統計分析した結果、求愛行動の興味深い特徴を発見することができました。



▲パソコンがカニを追跡の様子

## 重点枠

# スーパーサイエンスハイスクール 生徒研究発表会



SSH生徒研究発表会は日本全国のSSH指定校の代表生徒が集結し、日頃の課題研究の成果を発表するイベントです。令和元年8月7日、8日の2日間にわたり、神戸国際展示場を会場として開催され、SSH指定校関係者を中心に、約4,600名の参加がありました。

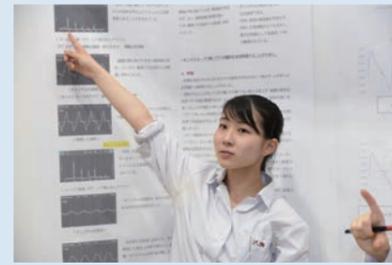
## 全体会

全体会では、京都薬科大学名誉教授 桜井弘氏による講演が行われました。



## ポスター発表

平成25年度～31年度指定校が、課題研究の成果やSSHの取組状況等について工夫を凝らしたポスター発表を行いました。展示物を効果的に使いながら見学者に説明したり、他校の発表を熱心に見て回って質問を投げかけたりと、大変活発な交流が行われました。



## 表彰

文部科学大臣表彰、国立研究開発法人科学技術振興機構理事長賞等に選ばれた指定校に、表彰状が授与されました。(校名はSSH指定校番号順に記載)

- 文部科学大臣表彰 (1校)
  - ・東京都立小石川中等教育学校
- 国立研究開発法人科学技術振興機構理事長賞 (2校)
  - ・国立大学法人奈良女子大学附属中等教育学校
  - ・兵庫県立宝塚北高等学校
- 審査委員長賞 (3校)
  - ・京都府立桃山高等学校
  - ・香川県立観音寺第一高等学校
  - ・東京都立立川高等学校
- 奨励賞 (6校)
  - ・学校法人佐野日本大学学園 佐野日本大学高等学校
  - ・長崎県立長崎西高等学校
  - ・福島県立福島高等学校
  - ・群馬県立前橋女子高等学校
  - ・学校法人中央大学 中央大学附属高等学校
  - ・徳島県立城南高等学校
- ポスター発表賞 (22校)
  - ・北海道札幌啓成高等学校
  - ・名古屋市長向陽高等学校
  - ・茨城県立水戸第二高等学校
  - ・国立大学法人東京工業大学附属科学技術高等学校
  - ・大分県立日田高等学校
  - ・茨城県立並木中等教育学校
  - ・学校法人茗溪学園 茗溪学園中学校高等学校
  - ・埼玉県立不動岡高等学校
  - ・東京都立多摩科学技術高等学校
  - ・東京都立日比谷高等学校
  - ・京都府立嵯峨野高等学校
  - ・兵庫県立加古川東高等学校
  - ・奈良県立奈良高等学校
  - ・新潟県立新発田高等学校
  - ・新潟県立高田高等学校
  - ・大阪府立大手前高等学校
  - ・愛媛県立宇和島東高等学校
  - ・熊本県立宇土中学校・宇土高等学校
  - ・埼玉県立熊谷西高等学校
  - ・国立大学法人東京学芸大学附属国際中等教育学校
  - ・国立大学法人お茶の水女子大学附属高等学校
  - ・岡山県立岡山一宮高等学校
- 生徒投票賞 (11校)
  - ・国立大学法人京都教育大学附属高等学校
  - ・国立大学法人奈良女子大学附属中等教育学校
  - ・宮城県仙台第一高等学校
  - ・宮城県仙台第三高等学校
  - ・山形県立米沢興譲館高等学校
  - ・福島県立福島高等学校
  - ・群馬県立桐生高等学校
  - ・鹿児島県立錦江湾高等学校
  - ・学校法人奈良学園 奈良学園中学校・高等学校
  - ・Johannes-Gymnasium (Germany)
  - ・St. Mary's School (India)

## 代表校発表

1日目にポスター発表を行ったSSH指定校の中から選出された代表校6校が、全SSH指定校の生徒たちをはじめ、多くの方々の前で研究成果について口頭発表を行いました。

代表校の発表は研究に対する熱い思いと創意工夫に満ち、活発な質疑応答が行われ、科学を通じて伝え合い、高め合う充実した発表会になりました。



▲国立大学法人奈良女子大学附属中等教育学校  
超音波で物体を動かす  
～非接触型圧力提示システムの開発～



▲兵庫県立宝塚北高等学校  
スクロースのカラメル化の初期反応を明らかにする  
～糖の構造の差異を用いた解析～



▲香川県立観音寺第一高等学校  
「無難に外角一辺倒」を統計的に検証する



▲東京都立小石川中等教育学校  
変形菌イタモジホコリの変形体における自己認識行動



▲京都府立桃山高等学校  
根粒菌による窒素固定のはたらきを理解するための実験



▲東京都立立川高等学校  
立川高校における50年間の視程の変化と戦後の大気汚染について



## 教師を対象とした情報交換会の開催

### SSH 指定校の教師による情報の共有と協議を行いました

各指定校の SSH 授業の向上を目的に、教師を対象とした情報交換会を開催しました。令和元年度は 12 月 25 日、26 日の 2 日間にて、約 570 名が参加しました。

分科会では、新しい SSH の取組、SSH 事業の評価、課題研究、国際性の育成など、各校において今後求められる取組をテーマに、参加者は活発な意見交換を行いました。さまざまな課題を持ち寄り共有する中で、「先進的で完成度の高い事例が勉強になった」「探究をする意味を考えさせられた」等の感想が聞かれました。



## 思い描く未来を創造する —自由・自主・自立に支えられたSSHの経験から—

### シカゴ大学 コンピュータサイエンス研究科 研究員 / 日本学術振興会 海外特別研究員 西田 惇

小学生の頃から理科の実験や工作に興味を持ち、SSH 指定校で研究活動を始めました。

「人とコンピュータの関わり方はどうあるべきか」という問いと共に、毎日放課後に同級生と実験機器や論文に向き合う日々を送りました。小さな部屋で新しいアイデアを仲間と自由に議論し、街に出て部品を買って自分で実装し、飛行機に乗って世界に向けて発表する、その過程で新しい人々と出会い、新しい知識を手に入れる喜びを在学中に体験できたことは、その後のキャリア設計に決定的な影響を与えました。自分が興味を持ったテーマについて主体的に突き詰めていくことができる環境があったことは大変幸運だったと感じています。

現在はシカゴ大学の研究員として、SSH 制度のもと奈良で始めた研究をアメリカで今も変わらず続けています。高校から大学、日本から海外と立場が変わっても研究上の興味や日々の感覚は当時から変わっていません。SSH での経験を最大限に活用して、一人一人が生きがいを持って生活できる社会の実現のため、新しい情報技術と知識の創造に果敢に取り組み、積極的に国際社会に提案していきたいと思えます。



▲PhDフェローを務めていた Microsoft Research Asiaにて (2017年)

主な経歴	
2005年	奈良女子大学附属中等教育学校でサイエンス研究会設立
2007年	スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会で文部科学大臣奨励賞受賞
2009年	高校生科学技術チャレンジ (JSEC) で科学技術政策担当大臣賞受賞
2010年	国際学生科学フェア (Intel ISEF) で優秀賞他、受賞
2018年	30 UNDER 30 JAPAN 世界を変える30歳未満30人の日本人 (Forbes JAPAN) に選出
2019年~	シカゴ大学 コンピュータサイエンス研究科 研究員

## 国際的なサイエンスフェアへの参加

### 海外での発表や連携の機会を積極的に提供

#### 34th China Adolescents Science and Technology Innovation Contest (第34回中国青少年科学技術イノベーションコンテスト)

- 主催 China Association for Science and Technology (CAST)
- 日程 令和元年7月20日から26日まで
- 開催地 中華人民共和国 マカオ特別行政区
- 参加SSH指定校 鹿児島県立国分高等学校
- 主な感想  
大学に進学した後も国際交流を続け、世界と連携し研究などしていきたいと思った。



## スーパーサイエンスハイスクール管理機関の取組：兵庫県教育委員会

### 管理機関の枠を越え、県全域への普及広報 —SSH 事業を核とした探究活動・理数教育の推進—

兵庫県は近畿地方で最大の面積を有するほど広いため、各地域に理数教育の中核的拠点校として SSH 指定校を計画的に申請し採択を受けてきました。各指定校での研究開発については、教育委員会が企画段階から関わるとともに、運営指導委員会や課題研究発表会に、理科や数学の指導主事が出席し、研究開発についての進行管理や指導助言を行っています。

各指定校への支援だけでなく、平成 22 年度に、県立神戸高校がコア SSH (地域の中核的拠点形成) の指定を受けたことを機に、兵庫「咲いテク (サイエンス & テクノロジー、Sci-Tech)」事業をスタートさせ、令和2年度は、県内の SSH 指定校 14 校 (県立 11 校、国立 1 校、市立 1 校、私立 1 校) が、管理機関の枠を越えたコンソーシアムを組織し、県内全域をあげて探究活動や理数教育の推進に取り組んでいます。7 月には、英語によるポスター発表等を行う「Science Conference in Hyogo」、10 月には高校・高等専門学校教員が「情報交換会」を開催し、日頃の取組の成果を共有しています。1 月には科学技術分野の研究活動に取り組む生徒の発表の場である「サイエンスフェア in 兵庫」に、高等学校 41 校、企業・大学・研究機関 23 団体が出展し、生徒と専門家の交流を通して、生徒が自らの将来を考える機会となっています。



▲数学・理科甲子園の様子

## 生徒の科学技術への興味・関心や姿勢に関する効果

### SSHの取組を通して、科学技術に関する学習意欲や未知の事柄に対する興味等について向上。

- 科学技術に関する学習に対する意欲が向上したと回答した生徒：62%
- 未知の事柄への興味 (好奇心) が向上したと回答した生徒：80%
- 自分から取り組む姿勢 (自主性、やる気、挑戦心) が向上したと回答した生徒：74%
- 真実を探って明らかにしたい気持ち (探究心) が向上したと回答した生徒：72%

【令和元年度SSH意識調査】国立研究開発法人科学技術振興機構

# SSH指定校①

令和2年度スーパーサイエンスハイスクール指定校一覧 (217校)



- 指定校
- 科学技術人材育成重点校 (指定校の内数)
- すでに指定を終了した学校

都道府県	学校名*	指定年度
------	------	------

\*1: 科学技術人材育成重点校  
 \*2: 指定終了後、再度指定された学校  
 \*3: 5年間の指定後、経過措置1・2年の指定を受けた学校

都道府県	学校名*	指定年度
北海道	北海道旭川西高等学校 <sup>2,3</sup>	27
北海道	北海道室蘭栄高等学校 <sup>2,3</sup>	27
北海道	北海道北見北斗高等学校	29
北海道	市立札幌開成中等教育学校 <sup>2</sup>	29
北海道	学校法人札幌日本大学学園 札幌日本大学高等学校 <sup>1,2</sup>	29
北海道	学校法人立命館 立命館慶祥高等学校 <sup>2</sup>	29
北海道	北海道釧路湖陵高等学校 <sup>2</sup>	30
北海道	北海道滝川高等学校 <sup>2</sup>	31
北海道	北海道札幌啓成高等学校 <sup>2</sup>	02
北海道	北海道函館中部高等学校	02
秋田県	秋田県立秋田中央高等学校 <sup>2</sup>	30
秋田県	秋田県立横手高等学校	30
山形県	山形県立鶴岡南高等学校 <sup>2</sup>	29
山形県	山形県立東桜学館中学校・高等学校	29
山形県	山形県立米沢興譲館高等学校 <sup>1,2</sup>	29
青森県	青森県立弘前南高等学校	28
青森県	青森県立青森高等学校	29
岩手県	岩手県立釜石高等学校 <sup>2</sup>	29
岩手県	岩手県立水沢高等学校 <sup>2</sup>	29
岩手県	岩手県立一関第一高等学校・附属中学校	31
宮城県	宮城県仙台第一高等学校 <sup>2</sup>	29
宮城県	宮城県仙台第三高等学校 <sup>2</sup>	29
宮城県	宮城県多賀城高等学校	30
宮城県	宮城県古川黎明中学校・高等学校 <sup>2</sup>	31
福島県	福島県立会津学鳳高等学校・中学校 <sup>2</sup>	28
福島県	福島県立福島高等学校 <sup>2</sup>	29
福島県	福島県立安積高等学校 <sup>2</sup>	31
新潟県	新潟県立柏崎高等学校 <sup>2</sup>	30
新潟県	新潟県立新発田高等学校 <sup>2</sup>	30
新潟県	新潟県立高田高等学校 <sup>2</sup>	30
新潟県	新潟県立長岡高等学校 <sup>2</sup>	30
新潟県	新潟県立新潟南高等学校 <sup>2</sup>	30
群馬県	群馬県立高崎高等学校 <sup>2</sup>	28
群馬県	群馬県立桐生高等学校 <sup>2</sup>	29
群馬県	群馬県立前橋女子高等学校 <sup>2</sup>	30
群馬県	群馬県立前橋高等学校	31
栃木県	栃木県立栃木高等学校 <sup>2</sup>	29
栃木県	栃木県立大田原高等学校	31
茨城県	茨城県立水戸第二高等学校 <sup>2</sup>	28
茨城県	茨城県立並木中等教育学校 <sup>2</sup>	29
茨城県	茨城県立日立第一高等学校 ・附属中学校 <sup>2</sup>	29
茨城県	学校法人清真学園 清真学園高等学校・中学校 <sup>2</sup>	29
茨城県	学校法人茗溪学園 茗溪学園中学校高等学校 <sup>2</sup>	29
茨城県	茨城県立緑岡高等学校 <sup>2</sup>	30
茨城県	茨城県立竜ヶ崎第一高等学校 ・附属中学校 <sup>2</sup>	31
埼玉県	さいたま市立大宮北高等学校	28
埼玉県	埼玉県立浦和第一女子高等学校 <sup>2</sup>	29
埼玉県	埼玉県立川越女子高等学校 <sup>2</sup>	29
埼玉県	埼玉県立熊谷高等学校 <sup>2</sup>	29
埼玉県	埼玉県立不動岡高等学校 <sup>2</sup>	29
埼玉県	埼玉県立松山高等学校 <sup>2</sup>	29
埼玉県	埼玉県立越谷北高等学校	30
埼玉県	埼玉県立熊谷西高等学校 <sup>2</sup>	31
埼玉県	埼玉県立春日部高等学校 <sup>2</sup>	02

都道府県	学校名*	指定年度
山梨県	山梨県立甲府南高等学校 <sup>2</sup>	29
山梨県	山梨県立韮崎高等学校 <sup>2</sup>	29
山梨県	山梨県立日川高等学校 <sup>2</sup>	29
山梨県	北杜市立甲陵高等学校 <sup>2</sup>	29
長野県	長野県飯山高等学校 <sup>2</sup>	28
長野県	長野県屋代高等学校・附属中学校 <sup>2</sup>	28
長野県	長野県諏訪清陵高等学校・附属中学校 <sup>2</sup>	29
岐阜県	岐阜県立恵那高等学校 <sup>2</sup>	29
静岡県	静岡県立清水東高等学校 <sup>2</sup>	29
静岡県	静岡市立高等学校 <sup>2</sup>	30
静岡県	静岡県立浜松工業高等学校 <sup>2</sup>	31
静岡県	学校法人静岡理工科大学 静岡北中学校・高等学校 <sup>2</sup>	31
愛知県	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学教育学部附属中・高等学校 <sup>1,2</sup>	28
愛知県	愛知県立刈谷高等学校 <sup>2</sup>	28
愛知県	学校法人名城大学 名城大学附属高等学校 <sup>2</sup>	28
愛知県	愛知県立明和高等学校 <sup>2</sup>	29
愛知県	愛知県立一宮高等学校 <sup>2</sup>	30
愛知県	愛知県立岡崎高等学校 <sup>2</sup>	30
愛知県	愛知県立時習館高等学校 <sup>2</sup>	30
愛知県	愛知県立豊田西高等学校 <sup>2</sup>	30
愛知県	愛知県立半田高等学校 <sup>2</sup>	30
愛知県	愛知県立旭丘高等学校	31
愛知県	名古屋市立向陽高等学校 <sup>2</sup>	02
東京都	国立大学法人東京工業大学附属科学技術高等学校 <sup>2</sup>	28
東京都	国立大学法人筑波大学附属駒場高等学校 <sup>2</sup>	29
東京都	国立大学法人東京学芸大学附属高等学校 <sup>2</sup>	29
東京都	東京都立小石川中等教育学校 <sup>2</sup>	29
東京都	東京都立多摩科学技術高等学校 <sup>2</sup>	29
東京都	東京都立日比谷高等学校 <sup>2</sup>	29
東京都	学校法人東海大学 東海大学付属高輪台高等学校 <sup>2</sup>	29
東京都	東京都立立川高等学校	30
東京都	学校法人玉川学園 玉川学園高等部・中学部 <sup>2</sup>	30
東京都	学校法人中央大学 中央大学附属高等学校	30
東京都	学校法人豊島岡女子学園 豊島岡女子学園高等学校	30
東京都	国立大学法人東京学芸大学附属国際中等教育学校 <sup>2</sup>	31
東京都	国立大学法人 お茶の水女子大学附属高等学校	31
東京都	東京都立戸山高等学校 <sup>2</sup>	31
千葉県	千葉県立柏高等学校 <sup>2</sup>	28
千葉県	千葉県立木更津高等学校	28
千葉県	千葉県立長生高等学校 <sup>2</sup>	28
千葉県	千葉市立千葉高等学校 <sup>1,2</sup>	29
千葉県	学校法人芝浦工業大学 芝浦工業大学柏中学高等学校 <sup>2</sup>	30
千葉県	千葉県立船橋高等学校 <sup>1,2</sup>	31
千葉県	千葉県立佐倉高等学校 <sup>2</sup>	31
千葉県	学校法人市川学園 市川高等学校・市川中学校 <sup>2</sup>	31
神奈川県	神奈川県立横須賀高等学校	28
神奈川県	学校法人聖マリア学園 聖光学院中学校高等学校	29
神奈川県	神奈川県立希望ヶ丘高等学校	30
神奈川県	神奈川県立相模原高等学校	31
神奈川県	神奈川県立多摩高等学校	31
神奈川県	神奈川県立厚木高等学校	02
神奈川県	神奈川県立厚塚江南高等学校	02
神奈川県	横浜市立 横浜サイエンスフロンティア高等学校 <sup>2</sup>	02

# SSH指定校②

令和2年度スーパーサイエンスハイスクール指定校一覧 (217校)



<b>石川県</b>	石川県立金沢泉丘高等学校 <sup>2</sup>	28
	石川県立小松高等学校 <sup>2</sup>	28
	石川県立七尾高等学校 <sup>2</sup>	29
<b>福井県</b>	福井県立若狭高等学校 <sup>2</sup>	29
	福井県立高志高等学校 <sup>2</sup>	30
	福井県立武生高等学校 <sup>2</sup>	30
	福井県立藤島高等学校 <sup>2</sup>	31
<b>京都府</b>	京都府立嵯峨野高等学校 <sup>1,2</sup>	29
	京都府立洛北高等学校 ・洛北高等学校附属中学校 <sup>2</sup>	29
	京都教育大学附属高等学校 <sup>2,3</sup>	27
	京都市立堀川高等学校 <sup>2,3</sup>	27
	京都府立桃山高等学校 <sup>2</sup>	02
	学校法人立命館 立命館高等学校 <sup>2</sup>	02
<b>兵庫県</b>	兵庫県立尼崎小田高等学校 <sup>2,3</sup>	27
	兵庫県立加古川東高等学校 <sup>2</sup>	29
	兵庫県立豊岡高等学校 <sup>2</sup>	29
	兵庫県立三田祥雲館高等学校 <sup>2</sup>	29
	神戸市立六甲アイランド高等学校 <sup>2</sup>	29
	兵庫県立神戸高等学校 <sup>1,2</sup>	30
	兵庫県立龍野高等学校 <sup>2</sup>	30
	兵庫県立宝塚北高等学校	31
	兵庫県立小野高等学校	31
	学校法人武庫川学院 武庫川 女子大学附属中学校・高等学校 <sup>2</sup>	31
	国立大学法人 神戸大学附属中等教育学校	02
	兵庫県立明石北高等学校 <sup>2</sup>	02
	兵庫県立姫路西高等学校	02
	兵庫県立姫路東高等学校	02
<b>富山県</b>	富山県立富山中部高等学校 <sup>2</sup>	31
<b>滋賀県</b>	滋賀県立膳所高等学校 <sup>1,2</sup>	28
	滋賀県立虎姫高等学校 <sup>2</sup>	29
	滋賀県立彦根東高等学校 <sup>2</sup>	29
	学校法人立命館 立命館守山高等学校 <sup>2</sup>	30
<b>大阪府</b>	国立大学法人大阪教育大学 附属高等学校天王寺校舎 <sup>2,3</sup>	27
	大阪府立岸和田高等学校 <sup>2</sup>	29
	大阪府立泉北高等学校 <sup>2</sup>	29
	大阪府立千里高等学校 <sup>2</sup>	29
	大阪府立天王寺高等学校 <sup>1,2</sup>	29
	大阪府立富田林高等学校・中学校	29
	大阪府立三国丘高等学校 <sup>2</sup>	29
	大阪府立大手前高等学校 <sup>2</sup>	30
	大阪府立高津高等学校 <sup>2</sup>	30
	大阪府立四條畷高等学校 <sup>2</sup>	30
	大阪府立住吉高等学校 <sup>2</sup>	30
	学校法人大阪医科薬科大学 高槻高等学校・中学校 <sup>2</sup>	31
	大阪府立生野高等学校 <sup>2</sup>	02
	大阪府立豊中高等学校 <sup>2</sup>	02
<b>三重県</b>	三重県立松阪高等学校 <sup>2</sup>	28
	三重県立伊勢高等学校 <sup>2</sup>	29
	三重県立津高等学校 <sup>2</sup>	30
	三重県立四日市高等学校 <sup>2</sup>	30
	三重県立桑名高等学校	31
	三重県立上野高等学校	31

<b>島根県</b>	島根県立益田高等学校 <sup>2</sup>	29
	島根県立出雲高等学校 <sup>2</sup>	30
	島根県立松江南高等学校	02
<b>山口県</b>	山口県立宇部高等学校 <sup>2</sup>	29
	山口県立下関西高等学校	30
	山口県立徳山高等学校 <sup>2</sup>	02
<b>福岡県</b>	福岡県立小倉高等学校 <sup>2,3</sup>	27
	福岡県立香住丘高等学校 <sup>2</sup>	28
	福岡県立鞍手高等学校 <sup>2</sup>	29
	福岡県立明善高等学校 <sup>2</sup>	29
	福岡県立城南高等学校 <sup>2</sup>	02
<b>佐賀県</b>	佐賀県立致遠館高等学校・ 佐賀県立致遠館中学校 <sup>2</sup>	29
<b>長崎県</b>	長崎県立大村高等学校	30
	長崎県立長崎南高等学校 <sup>2</sup>	30
	長崎県立長崎西高等学校 <sup>2</sup>	02
<b>熊本県</b>	熊本県立 熊本北高等学校 <sup>2</sup>	28
	熊本県立 天草高等学校	29
	熊本県立 第二高等学校 <sup>2</sup>	29
	熊本県立宇土中学校 ・宇土高等学校 <sup>2</sup>	30
<b>沖縄県</b>	沖縄県立球陽高等 学校・球陽中学校 <sup>2</sup>	30
	沖縄県立 向陽高等学校	31
<b>鹿児島県</b>	鹿児島県立錦江湾高等学校 <sup>2</sup>	29
	学校法人池田学園 池田中学・高等学校 <sup>2</sup>	29
	鹿児島県立鹿児島中央高等学校	30
	鹿児島県立国分高等学校	30
	鹿児島県立甲南高等学校	02
<b>宮崎県</b>	宮崎県立宮崎北高等学校 <sup>1,2</sup>	31
	宮崎県立延岡高等学校	02
	宮崎県立宮崎西高等学校 ・宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校	02
<b>鳥取県</b>	鳥取県立米子東高等学校	29
	学校法人鶏鳴学園 青翔開智中学校・高等学校	30
<b>広島県</b>	広島県立西条農業高等学校 <sup>2</sup>	29
	国立大学法人 広島大学附属高等学校 <sup>2</sup>	30
<b>岡山県</b>	学校法人ノートルダム清心学園 清心中学校・清心女子高等学校 <sup>2</sup>	28
	岡山県立玉島高等学校 <sup>2</sup>	29
	岡山県立津山高等学校 <sup>2</sup>	29
	岡山県立岡山一宮高等学校 <sup>2</sup>	31
	岡山県立倉敷天城高等学校 <sup>2</sup>	02
<b>香川県</b>	香川県立観音寺第一高等学校 <sup>1,2</sup>	29
	高松第一高等学校 <sup>2</sup>	02
<b>和歌山県</b>	和歌山県立海南高等学校 <sup>2</sup>	29
	和歌山県立 向陽高等学校・中学校 <sup>2</sup>	29
<b>奈良県</b>	奈良県立青翔高等学校 <sup>2</sup>	28
	奈良県立奈良高等学校 <sup>1,2</sup>	29
	学校法人西大和学園 西大和学園中学校・高等学校 <sup>2</sup>	29
	学校法人奈良学園 奈良学園中学校・高等学校 <sup>2</sup>	30
	国立大学法人奈良女子大学附属 中等教育学校 <sup>2</sup>	02
<b>徳島県</b>	徳島県立城南高等学校 <sup>2</sup>	30
	徳島県立徳島科学技術高等学校 <sup>2</sup>	31
	徳島県立富岡西高等学校	31
	徳島県立脇町高等学校 <sup>2</sup>	02
<b>高知県</b>	高知県立 高知小津高等学校 <sup>2</sup>	29
<b>愛媛県</b>	愛媛県立宇和島東高等学校 <sup>2</sup>	30
	愛媛県立西条高等学校	30
	愛媛県立松山南高等学校 <sup>2</sup>	02
<b>大分県</b>	大分県立日田高等学校 <sup>2</sup>	28
	大分県立佐伯鶴城高等学校	29
	大分県立大分舞鶴高等学校 <sup>2</sup>	02

## ■科学技術人材育成重点校指定校一覧 (12校)

指定校名	種別	科学技術人材育成 重点校指定年度	指定 年度
学校法人札幌日本大学学園 札幌日本大学高等学校	社会との共創	2020 -2021	1年目/2年 29
山形県立米沢興譲館高等学校	社会との共創	2020 -2021	1年目/2年 29
千葉市立千葉高等学校	中核拠点	2018 -2020	3年目/3年 29
千葉県立船橋高等学校	高大接続	2019 -2023	2年目/5年 31
国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学教育学部附属中・高等学校	その他	2018 -2020	3年目/3年 28
滋賀県立膳所高等学校	中核拠点	2018 -2020	3年目/3年 28

指定校名	種別	科学技術人材育成 重点校指定年度	指定 年度
京都府立嵯峨野高等学校	その他	2020 -2021	1年目/2年 29
大阪府立天王寺高等学校	広域連携	2020 -2021	1年目/2年 29
兵庫県立神戸高等学校	広域連携	2019 -2022	2年目/4年 30
奈良県立奈良高等学校	広域連携	2020 -2021	1年目/2年 29
香川県立観音寺第一高等学校	広域連携	2019 -2021	2年目/3年 29
宮崎県立宮崎北高等学校	広域連携	2019 -2023	2年目/5年 31

## ■スーパーサイエンスハイスクールに過去指定経験のある学校一覧 (66校)

北海道札幌西高等学校、北海道帯広柏葉高等学校、北海道札幌北高等学校、北海道岩見沢農業高等学校、青森県立三本木高等学校・附属中学校、青森県立八戸北高等学校、岩手県立盛岡第三高等学校、宮城県宮城第一高等学校、秋田県立大館鳳鳴高等学校、秋田県立横手清陵学院中学校・高等学校、秋田県立秋田北鷹高等学校、福島県立磐城高等学校、福島県立相馬高等学校、茨城県立竹園高等学校、学校法人白鷗大学 白鷗大学足利高等学校、学校法人作新学院 作新学院高等学校、栃木県立宇都宮高等学校、栃木県立宇都宮女子高等学校、栃木県立足利高等学校、学校法人佐野日本大学学園 佐野日本大学高等学校、群馬県立高崎女子高等学校、埼玉県立熊谷女子高等学校、学校法人早稲田大学 早稲田大学本庄高等学院、埼玉県立川越高等学校、埼玉県立大宮高等学校、学校法人早稲田大学 早稲田大学高等学院、東京都立科学技術高等学校、学校法人文京学院 文京学院大学女子高等学校、神奈川県立西湘高等学校、神奈川県立神奈川総合産業高等学校、学校法人慶應義塾 慶應義塾高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、富山県立高岡高等学校、富山県立富山高等学校、学校法人山梨英和学院 山梨英和中学校・高等学校、山梨県立巨摩高等学校、山梨県立都留高等学校、岐阜県立岐阜農林高等学校、岐阜県立岐山高等学校、静岡県立磐田南高等学校、三重県立津西高等学校、京都府立桂高等学校、大阪府立園芸高等学校、大阪府立東高等学校、大阪府立北野高等学校、大阪府立都島工業高等学校、兵庫県立大学附属高等学校、和歌山県立日高高等学校・附属中学校、和歌山県立桐蔭高等学校、鳥取県立鳥取東高等学校、学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校、島根県立松江東高等学校、学校法人加計学園 岡山理科大学附属高等学校、学校法人金光学園 金光学園中学・高等学校、学校法人安田学園 安田女子中学高等学校、広島県立広島国泰寺高等学校、山口県立岩国高等学校、山口県立山口高等学校、香川県立三本松高等学校、福岡県立嘉穂高等学校、福岡県立八幡高等学校、福岡県立修猷館高等学校、学校法人コングレガシオン・ド・ノートルダム 明治学園中学校・高等学校、福岡県立東筑高等学校、長崎県立諫早高等学校、沖縄県立開邦高等学校

※学校名は指定時のもの

# SUPER SCIENCE HIGHSCHOOL

文部科学省指定

2020～2021 スーパーサイエンスハイスクール

